

令和3年度社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会事業報告

1 はじめに

令和3年度は、「地域福祉活動計画」の初年度として、事業計画では、中長期的展望の上に地域福祉活動に取り組むため地域づくり事業等の委託事業を拡大し、安定的な人材確保のため職員の処遇改善に取り組むとの事業計画により事業に取り組んできたところです。

しかし、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の拡大傾向や、2月にはじまったロシアによるウクライナへの武力侵攻に伴う世界経済の停滞及び東日本大震災の復興事業の収束時期とあいまっての経済活動の低下が市民の暮らしに大きな影を落とし、高齢者等の生活弱者へのしわ寄せが大きな波となっています。

こうした状況が、社会福祉活動の必要性や重要性を増加させています。陸前高田市社会福祉協議会といたしましては、こうした社会のニーズに応え、新型コロナ感染対応としては買い物支援事業、子供の貧困支援対策としての制服のリユース事業、市民の見守り支援、各種相談業務の強化を行ってまいりました。

こうした中で、組織の脆弱さも実感され一段の組織強化の必要性が高まっているところです。

こうした反省の上に、本年度には中長期的に組織・財政を計画的に見直す計画も策定し今後の陸前高田市社協の方向性を示したところです。

以下、令和3年度の具体的な取り組みを部門ごとに主な事業について報告を行います。

2 各部門の事業実施状況

(1) 総務部門

①処遇改善

働き方改革の一環として職員給料表の改定を行い、職員の処遇改善に取り組みました。

このことにより、正職員は月額平均8%の15,000円、嘱託職員が、月額平均7%の11,000円、パート職員が時給11%の120円の賃金引き上げとなり一定程度の職員の処遇を改善いたしました。

②組織改革と職員体制整備

安定的かつ継続的な事業を目指す職員体制の構築のため正規職員3名を採用し職員の正臨比率を改善いたしました。

また、持続可能で住民ニーズに即した地域福祉事業に取り組むため、地域福祉部門を相談支援と地域支援に分割し従来の総務、地域福祉及び介護の3部門を4部門に改編するとともに業務組織としての形態を整備するため

4課8係体制を構築し中長期計画で示した組織機構改革を実施に向け取り組みます。

また、持続的で財政負担の少ない事務所を確保するため仮設鳴石事務所から「陸前高田市保健福祉総合センター」の管理業務を受託することにより、事務所を確保することで事務環境が整備され事務効率の向上と一定の財政面での安定化となりました。継続的に「陸前高田市保健福祉総合センター」を事務所として活用できるため管理者としての資質の向上に努めてまいります。

また、地域福祉事業の推進のため多くの事業を委託、補助している市関係部署と実務者会議や市長との意見交換を実施し事業の推進に努めました。

(2) 地域福祉部門

①地域福祉活動計画初年度の取組

「陸前高田市地域福祉活動計画」初年度の取り組みは事業計画も活動計画の目標に沿って実現するため、具体的な数値指標を立て臨みましたが、新型コロナの感染拡大の影響により住民と共に行うイベント等の事業は自粛をせざるを得ず、目標の達成は困難となり計画期間での事業の推進について見直しが必要となっています。

今後の事業の取り組みは、事業の推進に努めるとともに、計画の見直しに向け事業精査を行います。

②被災者生活支援相談事業の取組と展望 重層的相談と生活支援事業

被災者の状況は、岩手県・岩手県社協が示すアセスメント基準に基づく、令和3年度の結果は、心身の状況により重点見守りが必要な件数が1件、月1回程度の通常見守りが必要な件数が、112件及び2から3月に1回程度の見守りが必要な世帯が、665件で合計778件、前年の803件から25件減少しています。

被災地である陸前高田市においては、11年を経過してなお、被災の惨禍に苦しむ方々もいます。被災者支援が、やがて終わることに一定の理解は、できても被災の影響があることも事実でありこの2つを統一した取り組みが必要と考えています。現在取り組みを進めている、訪問等の個別支援と地域支え合い協議体を中心とするコミュニティ形成支援は、地域的な課題として継続した取り組みが必要と考えています。

国は、令和7年度の第2期復興・創生期の終了と共に被災者生活支援事業の終息が伺える情報が伝えられています。

岩手復興局とのヒアリングでも被災地の課題については、一定の理解が示されており、県内最大の被災地として真の復興を目指す取り組みを継続

することが重要と認識しています。

国・県への被災自治体からの声を届ける活動を行うとともに必要な方への継続的な支援と真に復興が実感できるような地域再生に向けた事業の在り方を求めることが重要と認識しています。

③生活困窮者自立支援事業

コロナ禍による飲食、観光業界をはじめとする地域経済への影響が引き続く中でのロシアによるウクライナ侵攻の影響により世界的に物流が停滞しガソリンや食料品の価格が上昇し、地域の貧困を推し進めることとなっています。生活困窮者自立促進支援業務の相談実件数は、69件となり、コロナ前の令和元年度の42件を大幅に上回っております。新型コロナウイルスの影響による緊急小口資金、総合支援資金の貸付についても、116件、貸付実績は、49件、20,070,000円となり、コロナ前の令和元年度の約4倍となりました。

コロナ禍の長期化にともない貸付事業の相談や新たな生活資金の不足等の相談は継続しており、引き続き相談対応を強化する必要性があります。住民生活の悪化に伴い支援も多様なものが必要であり、中学校の制服を、困窮世帯へ配付する「りくぜんたかた制服バンク」は、令和3年8月からの開始当初から多くの市民に制服提供を受け、のべ53件、計282点の制服等を受け入れております。

制服の支援に関しては、10件37点を提供することとなりました。

また、食糧支援では、いわて生協とタイアップした新型コロナの影響による経済支援の一環としておたがいさまプロジェクトにより15世帯へ41名への食糧を支援し、NPOフードバンク岩手と協働しての「子ども応援プロジェクト」により長期休暇の世帯への食糧支援やそのた農協からの県産米25セット（銀河の雪、黄金の風それぞれ5キロを1セット）を提供しています。

④成年後見推進事業への取組

少子高齢化や核家族化が進み、独居高齢者をはじめとする金銭管理等の不安の相談が増える中で、長期的に専門性の高い相談対応ができる体制づくりのため社会福祉士資格を有する職員を育成し、令和3年度より市から「陸前高田市権利擁護相談窓口業務」を受託し、「りくぜんたかた成年後見サポートセンター」を開設し、成年後見制度の周知及び推進をはかりました。

この間の相談件数は36件で、3件の成年後見制度利用の申立の準備が取り組まれているところです。

⑤地域支え合い活動推進事業の取組と展望

地域での高齢者の課題解決に向けて関係団体や住民がともに協議する場を設置し住民同士が支え合う体制の構築を目的に令和3年度より市から事業を受託しています。

10地区のコミ協単位に配置されている「地域支え合い活動推進員」と連携し地域事情に即した社会資源の開発支援や話し合いの場づくりの支援を行っております。この結果、各地区で共通する課題となっている移動支援について先行する横田町の地域主体での移動支援事業の他、矢作町二又地区でも地域主体の移動支援事業の導入試験、同生出地区の公共交通バス利用推進事業、米崎町での任意組織の移動支援事業等の広がりを見せ、こうした流れの中で市は、地域主体での移動支援事業への支援を制度化したところです。交通課題や担い手不足等、どの地区でも共通の課題が多く、社協や地区コミ協だけではなく、様々な関係部署と協働する必要性が高まっております。

また、地区コミ協単位だけではなく、自治会やご近所での集まりの場を通して、地域の困りごとを把握し事業に結び付けるため、社協職員がより地域に出向いていくことが今後の方向性として必要となっております。

(3) 在宅福祉部門

①介護保険事業の運営

働き方改革として非常勤職員を含めた全介護事業職員の処遇改善を行い、体制整備を行い、令和3年度の総事業収入は増加しました。

I 居宅介護事業（ケアマネ）

ケアプランの作成状況は、新規41件、継続55件で対前年比では、いずれも増となったところです。

令和3年度では、利用促進のため要支援段階の方の受け入れや相談業務の強化に取り組み一定の成果につながったところです。

また、今後においては地域との連強化のため民生委員との情報交換やきめの細やかな利用者見守りを通じてなお一層の利用促進を図る決意です。

II 訪問介護事業

サービス件数が年間延べ件数で、介護180件で20%、障がい40件で25%対前年比で増となったところです。これは、高齢化の進展に伴い独居高齢者の高齢に伴う介護度の進展や同居家族の高齢化に伴い支援需要が伸びたことによるものと考えているところです。

III 通所介護事業

利用件数は、年間延べ件数で1,371件、開所日数260日であり、一日当たりの利用は、5人となりました。

介護事業は、介護制度の見直しによる報酬単価の切り下げにより収益性が低下する一方で、高齢化の進行に伴う需要は増加する傾向にあり需要に対応するサービス体制の確保と同時に収益性の追求という困難な状況にあります。

一方、職員の体調不良等による臨時の増員等の影響で人件費や開設から8年経過した通所介護事業所「しおさいの家」の補修等の経費も増加し、令和3年度の収支差額は約890万円の支出超過となりました。

今後は、専門研修や研修機会を内部研修で実施することで職員一人ひとりの専門性の向上とサービスの向上に取り組むとともに、地域福祉活動を推進する社会福祉協議会として特色のある事業所運営を行い、経営基盤の改革を進めてまいります。

②児童発達支援業務「ふれあい教室」の取組

児童発達支援業務「ふれあい教室」は、職員体制を移管し市からの受託事業となりました。障害のある子どもの保育所、学校とのつなぎの施設として評価の高い事業であり、社協にとってこうした事業を包括できることは、社協の評価を高めるものと考えています。令和3年度の事業は、コロナ感染拡大防止のため集団活動の制限等を受けながらも、個別指導や各種相談に取り組んでまいりました。

また関係機関との連携を深め、当該児童や保護者に対する切れ目のない支援を強化しております。

契約者数38人、開催日数232日、延べ利用件数975件

3 中長期計画策定への取組

本会の活動の基本的指針となる「地域福祉活動計画」と合わせた、「中長期計画」は、全職員が担当事業・業務を自己評価しその強み・弱みを抽出し今後の事業に反映する計画とし事務局長、事務局次長、各主任を構成員に「策定委員会」を設置し、8回の委員会を経て、理事会、評議員会の協議・議決をへて策定しました。組織、財政等の面から持続可能な発展的方向での検討を行ったものであり、陸前高田市社協の将来の姿が見通せるものであり、計画に基づく実行が求められるものであります。

4 まとめ

令和3年度はコロナの影響を受けながら、市と連携を強化し多数の新規委託

事業に取り掛かりました。コロナ禍でも持続可能な地域福祉活動を目指し、事業展開を行い、合わせて、内部体制の強化として、職員の処遇改善や組織整備の協議、改善を継続しております。地域福祉活動計画や中長期計画を両輪として、社協活動が市民一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな事業を展開することで、市民に必要とされる社協となるような事業推進につとめてまいります。

議案第1号 説明資料①（令和3年度 社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会事業報告 詳細）

法人拠点区分

サービス区分	事業項目	内容・実績
法人運営事業		<p>①職員待遇改善 働き方改革としての職員給料表の改定を行う 正職員は平均8%、嘱託職員は平均7%増、パート職員は平均11%増の賃金改善</p> <p>②職員体制整備と組織体制 安定的かつ継続的な事業を目指し職員体制の見直しを行う (R 2) 正職員7名、嘱託職員26名、パート職員 9名 → (R 3) 正職員8名、嘱託職員28名、パート職員10名 管理職員を嘱託職員から正職員採用</p> <p>③保健福祉総合センター管理業務 市から保健福祉総合センターの管理業務を受託。震災後はじめて本設事務所を本部として安定的な事務局体制を構築。</p> <p>④市との情報共有 意見交換会 4回開催、市長・会長懇談会 1回開催</p>
【総事業費】 17,738,300円	職員待遇改善・組織体制整備	<p>①三役会議 13回開催</p> <p>②理事会 5回開催 主な内容：役員改選(理事・評議員)、事務所移転、中長期計画</p> <p>③評議員会 4回開催 主な内容：理事選任、事務所移転に伴う定款・諸規程の改正、中長期計画</p> <p>④監事会 4回</p> <p>⑤評議員選任・解任委員会 1回 (評議員定数改正後初の選任 33~37名 ⇒ 20~24名)</p>
市補助金 10,000,000円	社協会費	<p>地域福祉推進のための自主財源の確保として、社協会費の納入について協力を呼びかけ、世帯会費のほか、個人・事業所等からの協力もいただいた。</p> <p>①第一種会費（福祉関係組織・団体） 25,000円(前年度 25,000円) ②第二種会費（個人・民生委員児童委員） 44,500円(前年度 69,000円) ③第三種会費（世帯） 5,595,000円(前年度 5,548,000円) ④特別会費（法人・事業所） 877,000円(前年度 860,000円)</p>
自主財源 7,738,300円	役・職員研修	<p>①新任職員研修 4回(職員採用時) ②職員研修 1回(中長期計画について) ③役員研修 1回(気仙地区社協連役員研修会「社協の役割と中期経営計画」)</p>
	中長期計画の策定	<p>【新規】 事務局長、事務局次長、各主任で策定委員会を組織。各部門でグループワーク形式で意見を出し合い、全職員で取り組む。 策定委員会の開催 8回 理事会、評議員会で中間報告し協議を経て、3月の評議員会で承認。</p>
	うるおいとやすやぎの家	<p>各コミ協へ助成金を交付し、高齢者の交流、生きがい事業を実施 助成金交付額</p> <p>①生出：39,740円 ②矢作：160,000円 ③下矢作：170,000円 ④横田：170,000円 ⑤竹駒：180,000円 ⑥今泉：160,000円 ⑦高田：186,500円 ⑧小友：12,000円 ⑨広田：15,000円</p>
	ふれあいネットワーク事業	一人暮らし高齢者や高齢世帯等 2名をネットワーク協力員が見守り訪問
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	民生委員児童委員協議会の協力により、生まれた赤ちゃんの家庭へ記念品を持参し、地域の民生委員児童委員の周知と生まれた赤ちゃんへの祝福を行い、地域で子どもたちを育てていくことを目的に実施 実績：78名

地域福祉事業区分・共同募金運営事業 【総事業費】 8,035,251円 【主な財源】 市委託金 390,000円 共募配分金 6,826,735円 自主財源 829,516円	金婚祝賀会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祝賀会の開催を中止。記念品を贈呈し慶祝した。 実績：85組170名 記念品：南部鉄器(七宝白金)
	福祉大会の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「陸前高田市福祉功労者表彰式」を行い表彰対象者に表彰状を授与し、日頃の福祉活動に敬意を表した。 日時：令和3年10月20日(水)14時 場所：陸前高田市コミュニティホール シンガポールホール
	福祉団体への助成事業	陸前高田市民生委員児童委員協議会 100,000円
	新型コロナウイルス感染者等の買い物支援事業	【新規】 家族が新型コロナウイルスに感染、または濃厚接触者となり、在宅療養または自宅待機となった場合、外出できない期間に食料品や日用品等の生活必需品の買い物支援を行うことで、生活支援を図る。 ・利用実績：1世帯 のべ3回の支援 5,000円
	制服リユース業務「りくぜんたかた制服バンク」	【新規】 中学校の制服を市民から集め、困窮世帯へ配付。S D G s の推進と若年世代への支援事業 回収件数：53件／282点 提供件数：10件／37点
	支え合いマップ作成事業	住宅地図に住民相互の支え合いの線で結ぶことで地域のつながりを可視化できる地図を3地区作成した。 ①矢作町13,14区 ②気仙町二日市地区 ③高田町下和野団地
	日常生活自立支援事業（あんしんネット）	判断能力が不十分な方が自立した生活を送れるように、支援員が金銭管理や諸手続き等を行う事業を実施した。 ・利用者： 26名
ボランティア事業 【総事業費】 154,000円 【主な財源】 自主財源 154,000円	ボランティア活動センター	①ボランティア保険の加入促進 ・活動保険： 253人 ・行事用保険： 2,001人 ・送迎サービス補償保険： 0人 ・福祉サービス補償保険： 23人（ボランティア保険受付） ・ふれあい社協行事用保険 0人 ②市民ボランティアの登録 50名、13団体 ③市内外ボランティアの活動状況 ・サロン： 0件 ・引越し： 4件 ・その他： 3件 ⑤令和3年度福祉ボランティア講座 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため中止
		東日本大震災により、直接、間接を問わず被害、影響を受けた方の相談や情報提供、見守りや生活支援が必要な地域住民のニーズ把握及びニーズに沿った相談支援を行うため、生活支援相談員を配置して災害公営住宅等を見守り訪問や傾聴対応等を行っている。 訪問対象世帯 788世帯(R2：803世帯) 訪問対応件数 7,568件(R2：15,154件) うち相談対応 2,257件(R2：3,802件)

<p>生活福祉資金貸付事業・たすけあい資金貸付事業</p> <p>【総事業費】 296,918円</p> <p>【主な財源】</p> <p>県社協委託金 296,886円</p> <p>自主財源 32円</p>	<p>生活福祉資金等貸付事業</p>	<p>貸付実績：49件 20,700,000円</p> <p>①総合支援資金 相談38件 貸付23件 貸付金額9,360,000円</p> <p>②福祉資金・福祉費 相談3件 貸付0件</p> <p>③福祉資金・緊急小口資金 相談5件 貸付0件</p> <p>④教育支援資金 相談25件 貸付2件 貸付金額2,320,000円</p> <p>⑤不動産担保型生活資金 相談0件</p> <p>⑥特例貸付(緊急小口) 相談45件 貸付24件 貸付金額4,500,000円</p> <p>⑦生活復興支援資金 相談0件</p> <p>⑧たすけあい資金 相談0件</p>
<p>介護予防・いきいきライフ事業</p> <p>【総事業費】 2,660,457円</p> <p>【主な財源】</p> <p>市委託金 2,660,457円</p>	<p>介護予防教室(いきいきライフ)事業実施業務</p>	<p>地区コミ協単位で高齢者を募り、市内施設バスツアーを22回開催。132名の参加。</p>

介護保険事業拠点区分

サービス区分	事業項目	内容・実績
訪問介護事業 【総事業費】 21,065,058円	介護保険・訪問介護事業 【主な財源】 介護報酬 6,905,015円 利用者負担金 723,435円	要介護者年間延べ提供件数 1,794件(R2: 1,567件) 介護給付 月平均利用者数 11人(R2: 9人) 要支援者年間延べ提供件数 539件(R2: 361件) 介護予防 月平均利用者数 8人(R2: 5人)
	障がい者・訪問介護事業 【主な財源】 市補助金 1,385,863円 自立支援給付金 9,407,717円 利用者負担金 90,874円	移動支援年間延べ提供件数 516件(R2: 411件) 移動支援 月平均利用者数 7人(R2: 5人) 自立支援年間延べ提供件数 2,244件(R2: 1,997件) 自立支援 月平均利用者数 31人(R2: 28人)
居宅介護支援事業 【総事業費】 9,964,666円 【主な財源】 市委託金 155,220円 介護報酬 7,296,860円	居宅介護支援事業所運営	要介護年間延べ提供件数 600件(R2: 556件) 介護給付 月平均利用者数 50人(R2: 46人) 要支援年間延べ提供件数 8件(R2: 0件) 介護予防 月平均利用者数 2人(R2: 0人)
通所介護事業 【総事業費】 16,780,921円 【主な財源】 介護報酬 11,254,298円 利用者負担金 1,028,782円 利用者食費等収入 705,150円	通所介護事業所「しおさいの家」運営	登録者数 16人(R2: 18人) 要介護延べ提供件数 1,181件(R2: 1,278) 要支援年間延べ提供件数 8件(R2: 0件) 介護予防 月平均利用者数 2人(R2: 0人)

施設管理事業拠点区分

サービス区分	事業項目	内容・実績								
被災者見守り事業 【総事業費】 15,261,477円 【主な財源】 市委託金 15,261,477円	市民交流プラザ管理	<p>下和野市民交流プラザ、中田市民交流プラザの2拠点の管理業務を市から受託。誰もがお互いの支え合いができる、誰もが集い憩える拠点として運営し、地域包括ケアコーディネーターや健康相談員と連携しながら、団地内のみならず周辺地域との交流促進を図っている。</p> <p>(利用実績)</p> <p>下和野市民交流プラザ</p> <table> <tr> <td>延べ開館日数</td> <td>218日</td> <td>延べ来訪者数</td> <td>5,887人</td> </tr> </table> <p>中田市民交流プラザ</p> <table> <tr> <td>延べ開館日数</td> <td>218日</td> <td>延べ来訪者数</td> <td>4,598人</td> </tr> </table>	延べ開館日数	218日	延べ来訪者数	5,887人	延べ開館日数	218日	延べ来訪者数	4,598人
延べ開館日数	218日	延べ来訪者数	5,887人							
延べ開館日数	218日	延べ来訪者数	4,598人							
生活困窮者自立支援事業 【総事業費】 11,684,200円 【主な財源】 市委託金 11,684,200円	総合相談窓口「くらし応援窓口」	<p>①相談受付件数：69件（R2：86件） 終結件数：5件（R2：4件） 事業別利用者数 自立相談支援 69件（R2：86件） 家計相談支援 20件（R2：21件）</p> <p>②フードバンク提供回数：64回／193名（R2：36回／80名） 団体や個人から寄贈された食品を支援を必要とする人に無償提供</p>								
移動支援事業 【総事業費】 7,361,316円 【主な財源】 市補助金 7,361,316円	車両移送型移動支援事業 「おひさま」	<ul style="list-style-type: none"> 稼働日数： 239日 登録者数： 268名（R2：228名） 利用回数： 2,283回（R2：1,984回） 利用人数： 1,314名（R2：1,170名） 								
ふれあい教室事業 【総事業費】 10,670,000円 【主な財源】 市委託金 10,670,000円	児童発達支援業務「ふれあい教室」	<p>【新規】</p> <p>発達面や行動面、ことばなどで気になる就学前児童の療育サービス「ふれあい教室」を市から職員体制を移管し受託。</p> <p>契約者 38人 延べ利用人数 975人</p>								
成年後見制度推進事業 【総事業費】 2,161,500円 【主な財源】 市委託金 2,161,500円	りくぜんたかた成年後見さぽーとセンター	<p>【新規】</p> <p>成年後見制度利用推進のため、市より「権利擁護相談窓口業務」を受託、「りくぜんたかた成年後見さぽーとセンター」を開設。制度の周知や相談を行った。</p> <p>相談受付件数：36件 申立て件数：3件</p>								
地域支え合い活動推進事業 【総事業費】 10,817,478円 【主な財源】 市委託金 10,817,478円	生活支援体制整備事業	<p>【新規】</p> <p>地区コミュニティ推進協議会単位で地域課題等を話し合う場としての「協議体」の設置とその運営支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議体設置 10地区 								
保健福祉総合センター業務 【総事業費】 2,156,000円 【主な財源】 市委託金 2,156,000円	保健福祉総合センター管理業務	<p>【新規】</p> <p>令和3年5月より市から保健福祉総合センターの管理業務を受託。新型コロナウイルスのワクチン接種会場のため、一般利用実績はなし。</p>								

議案第1号 説明資料②

業 務 報 告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月	日	曜	業 務	場 所
4	1	木	辞令交付式	コミュニティホール
			【民児協】理事会	コミュニティホール
6	6	火	第8回広田地区地域支え合い協議体	広田地区コミセン
			主任会議	鳴石事務所
7	水	三役会		保健福祉総合センター
8	木		気仙地区社会福祉協議会連絡会事務局会議	大船渡市：総合福祉センター
18	日		陸前高田市新庁舎竣工式	陸前高田市新庁舎
5	8	土	事務所引越し作業	鳴石事務所→保健福祉総合センター
			第9回広田地区地域支え合い協議体	広田地区コミセン
	11	火		
	12	水	【ボラ連】監査・事務局会議	保健福祉総合センター
	14	金	三役会議	保健福祉総合センター
	17	月	令和3年度市町村社会福祉協議会部会監査	盛岡市：ふれあいランド岩手
			令和3年度市町村社会福祉協議会部会 第1回理事会	盛岡市：ふれあいランド岩手
	21	金	【共募】令和3年度第1回運営委員会	コミュニティホール
			「認知症になってもやさしいお店」プロジェクト意見交換会	アバッセ会議室
	24	月	地域サポート会議	コミュニティホール
	25	火	支援調整会議	保健福祉総合センター
	26	水	社協 決算監査	保健福祉総合センター
6	1	火	【民児協】理事会	コミュニティホール
			第10回広田地区地域支え合い協議体	広田地区コミセン
	3	木	主任会議	保健福祉総合センター
	4	金	三役会議	保健福祉総合センター
	7	月	令和3年度第1回沿岸部生活支援相談員リーダー等情報交換会	大槌町： 文化交流センターおしゃっち
	9	水	陸前高田市「認知症になってもやさしいお店」プロジェクトボランティア講座	アバッセ
	10	木	令和3年度第1回理事会	コミュニティホール
			【共募】令和3年度第2回運営委員会	コミュニティホール
			気仙地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク大船渡

6	12	土	生出地区地域支え合い会議	生出地区コミュニティセンター
	16	水	第三者委員への報告会	コミュニティホール
	18	金	大船渡地域福祉サービス苦情解決情報交換会	コミュニティホール
			評議員選任・解任委員会	コミュニティホール
21		月	【共募】令和3年度第1回審査委員会	コミュニティホール
23	水	陸前高田市「認知症になってもやさしいお店」プロジェクト ボランティア講座		マイヤ高田店
24	木		令和3年度ファシリテーション研修会 1回目	盛岡市：都南公民館
	25	金	令和3年度第1回評議員会	コミュニティホール
			令和3年度第2回理事会	コミュニティホール
			矢作地区地域支え合い会議	矢作地区コミュニティセンター
28		月	地域サポート会議	コミュニティホール
			支援調整会議	市役所
7	1	木	【民児協】理事会	コミュニティホール
			認知症になっても優しいお店プロジェクト 意見交換会	アバッセたかた
	3	土	100歳祝（横田町 本田オキノ様）	松原苑
			きょうされん全国大会実行委員会	コミュニティホール
	6	火	【共募】令和3年度第3回共同募金会運営委員会	コミュニティホール
			主任会議	保健福祉総合センター
	8	木	令和3年度岩手県生活支援コーディネーター養成研修会	盛岡市：アイーナ
	9	金	令和3年度ファシリテーション研修会 2回目	盛岡市：都南公民館
			三役会議	保健福祉総合センター
	13	火	令和3年度コミュニティソーシャルワーカー（地域福祉活動コーディネーター）養成研修会1日目	盛岡市：ホテルメトロポリタン
	14	水	中長期計画 第1回策定委員会	保健福祉総合センター
			令和3年度コミュニティソーシャルワーカー（地域福祉活動コーディネーター）養成研修会2日目	盛岡市：ホテルメトロポリタン
	17	土	【民児協】第26回地域福祉実践研究セミナー事前打ち合わせ・第2回実行委員会の開催について（リモート）	保健福祉総合センター
	19	月	令和3年度市町村社会福祉協議会事務局長・地域福祉担当課長等会議（リモート）	保健福祉総合センター
			南足柄市 加藤様（元南足柄市社協事務局長）来所	保健福祉総合センター
	20	火	中長期計画 作業部会（総務）	保健福祉総合センター
			子ども・子育て会議	コミュニティホール
21	水	ワーカーズコープ大槌地域福祉事務所講師派遣	大槌町：文化交流センター	

	100歳祝（矢作町：佐藤ウメヨ様）	松原苑
23	金 100歳祝（高田町 村上捷子様）	特養陸前高田
26	月 大船渡地区現地復興推進本部会議	大船渡市：シーパル大船渡
	地域サポート会議	コミュニティホール
27	火 広田地区地域支え合い活動推進事業協議体	広田地区コミュニティセンター
	支援調整会議	市役所
28	水 中長期計画 作業部会（総務）	保健福祉総合センター
	JAおおふなと様 米寄贈の為来訪	保健福祉総合センター
29	木 認知症になっても優しいお店プロジェクト キックオフ	アバッセたかた
30	金 第2回気仙地区成年後見制度推進検討会	大船渡市：総合福祉センター
8	2月 【民児協】理事会	コミュニティホール
	3火 令和3年度岩手県成年後見制度利用促進ネットワーク会議（リモート）	保健福祉総合センター
	水道事業所推進委員会	市民文化会館
	中長期計画 作業部会（総務）	保健福祉総合センター
4	水 令和3年度地域で育む福祉教育セミナー	盛岡市：勤労福祉会館
	中長期計画グループワーク①（地域）	保健福祉総合センター
	【共募】令和3年度第2回審査委員会	コミュニティホール
5	木 中長期計画グループワーク②（地域）	保健福祉総合センター
6	金 主任会議（13:30）	保健福祉総合センター
10	火 三役会議（13:30）	保健福祉総合センター
	事業執行状況ヒアリング	保健福祉総合センター
11	水 事業執行状況ヒアリング	保健福祉総合センター
18	水 100歳祝（高田町：柴田カチヨ様）※祝い品のみ	
	中長期計画 作業部会（総務）	保健福祉総合センター
20	金 【共募】出納調査	保健福祉総合センター
	出納調査	保健福祉総合センター
21	土 青松館職員研修へ講師派遣	青松館
25	水 中長期計画 作業部会（総務）	保健福祉総合センター
27	金 支援調整会議	市役所
28	土 下矢作地区第1回地域支え隊会議	下矢作地区コミセン

9	1	水	【民児協】理事会 引きこもり家族の集い	コミュニティホール 大船渡市：福祉の里センター
7	火		主任会議	保健福祉総合センター
9	木		中長期計画 作業部会（総務） 小友小学校福祉学習会講師派遣	保健福祉総合センター 小友小学校
10	金		三役会議	保健福祉総合センター
15	水		中長期計画 作業部会（総務） 令和3年度沿岸圏域自殺予防対策研修会	保健福祉総合センター オンライン
17	金		令和3年度第3回理事会	コミュニティホール
22	水		中長期計画 作業部会（総務）	保健福祉総合センター
27	月		広田地区地域支え合い活動推進事業協議体 令和3年度第1回市との意見交換会	広田地区コニセン 市役所
29	水		中長期計画 作業部会（総務） 令和3年度第2回評議員会	保健福祉総合センター コミュニティホール
10	1	金	【民児協】理事会 第1回陸前高田市協働のまちづくり指針策定談話会	コミュニティホール 市役所
5	火		主任会議	保健福祉総合センター
8	金		令和3年度家計改善支援事業従事者養成研修	オンライン
11	月		三役会議	保健福祉総合センター
15	金		令和3年度第2回市との意見交換会	市役所
16	土		職員採用試験	コミュニティホール
18	月		令和3年度第2回支え合いマップ取組勉強会	山田町：山田町中央公民館
20	水		令和3年度陸前高田市福祉功労者表彰式 令和3年度「しあわせ・どっと・こむ」事業検討会議	コミュニティホール 大船渡市：Y・Sセンター
21	木		第3回中長期計画策定委員会	保健福祉総合センター
22	金		100歳祝（高田町：熊谷キヨ様）※祝い品のみ	
25	月		【民児協】八幡平市西根地区民生児童委員協議会視察対応 同行援護従事者養成研修（25日～27日）	コミュニティホール 北上市：北上市総合福祉センター
26	火		令和3年度岩手県生活支援コーディネーター現地研修 第2回陸前高田市協働のまちづくり指針策定懇話会	九戸村：有償ボランティア拠点「ほづの家」 市民文化会館

27	水	チャレンジデー 第1回運営推進会議	保健福祉総合センター しおさいの家 長洞公民館
28	木	第2回東日本大震災被災者実態調査研究委員会 第1回陸前高田市男女共同参画計画策定委員会	盛岡市：岩手県公会堂 コミュニティホール
29	金	令和3年度第1回地域支え合い活動推進員研修会	市民文化会館
11	1月	【民児協】理事会	竹駒地区コミセン
	2火	第74回岩手県社会福祉大会	盛岡市：岩手県民会館
	4木	令和3年度日常生活自立支援事業専門員研修会 令和3年度介護サービス情報公表・訪問調査(居宅)	盛岡市：岩手教育会館 保健福祉総合センター
	5金	主任会議 令和3年陸前高田市市勢功労者表彰式	保健福祉総合センター 市民文化会館
	8月	成年後見制度利用促進フォーラム 令和3年度第3回市との意見交換会	オンライン 市役所
10	水	令和3年度第4回市との意見交換会	市役所
11	木	気仙地区社協連役員研修会 三役会議	コミュニティホール コミュニティホール
12	金	【民児協】令和3年度中堅民生委員児童委員研修会	盛岡市：マリオス
15	月	令和3年度第1回介護支援専門員等研修会	市役所
16	火	令和3年度市町村社会福祉協議会会长懇談会 広田診療所連絡会	オンライン 広田診療所
17	水	100歳祝（米崎町：金野サカヘ様） 三者連携の構築事例から学ぶ研修会	松原苑 オンライン
18	木	権利擁護地域研修	大船渡市：リアスホール
19	金	【共募】出納調査 出納調査 令和3年度しあわせ・どっと・こむ第1回実行委員会	保健福祉総合センター 保健福祉総合センター 大船渡市：Y・Sセンター
20	土	職員採用試験	保健福祉総合センター
22	月	日常生活自立支援事業令和3年度第1回生活支援員会議 令和3年度地域へつなぐコーディネート研修	大船渡市：Y・Sセンター 盛岡市：岩手県公会堂

		「被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営」研修会	オンライン
24	水	第4回中長期計画策定委員会	保健福祉総合センター
		令和3年度岩手県生活支援コーディネーター連絡会	盛岡市：いわて県民情報交流センター
26	金	【市老連】三役会議	保健福祉総合センター
30	火	【共募】令和3年度市町村共同募金委員会担当職員研修会	盛岡市：ふれあいランド
12	1	水 【民児協】理事会	コミュニティホール
	3	金 令和3年度社会福祉法人指導監査	保健福祉総合センター
	4	土 広田地区コミセンにて打ち合わせ	広田地区コミセン
		シンガポールフェア in 陸前高田	コミュニティホール
	6	月 令和3年度市町村社協経営研究会	オンライン
		主任会議	保健福祉総合センター
	7	火 三役会議	保健福祉総合センター
	8	水 松田町社協職員視察対応	保健福祉総合センター
		【市老連】三役会議	保健福祉総合センター
13	木	岩手復興局視察対応	下和野市民交流プラザ
		歳末たすけあい運動街頭募金	アバッセたかた
	月	令和3年度はまかだ運動推進会議	市役所
		市長との懇談会	市役所
14		【共募】会長への共同募金中間報告	市役所
		令和3年度市町村社協災害対応初動チーム員研修会	オンライン
	火	【市老連】理事会	コミュニティホール
		矢作地区支え合い会議	矢作地区コミセン
15	水	令和3年度第5回介護支援専門員連絡会議	市役所
		令和3年度歳末たすけあい募金配分委員会	コミュニティホール
16	木	第5回中長期策定委員会	保健福祉総合センター
		第3回陸前高田市協働のまちづくり指針策定懇話会	市民文化会館
		大船渡市成年後見支援センター成年後見制度普及研修会	大船渡市：シーパル大船渡
17	金	横田地区支え合い会議	横田地区コミセン
20	月	令和3年度生活支援相談員事例検討会	コミュニティホール

	地域サポート会議	コミュニティホール
	第4回気仙地区成年後見制度推進検討会	大船渡市:総合福祉センター
21 火	【ボラ連】歳末たすけあい募金活動	アバッセたかた
	陸前高田市障がい者福祉施策推進協議会	市役所
	第3回東日本大震災被災者実態調査研究委員会	盛岡市:アイーナ
22 水	アムウェイハウスに関する打ち合わせ	保健福祉総合センター
	成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修	保健福祉総合センター
23 木	令和3年度第一層協議体会議	コミュニティホール
	第2回陸前高田市男女共同参画計画策定委員会	市民文化会館
24 金	令和3年度第3回評議員会	コミュニティホール
28 火	仕事納め	保健福祉総合センター
1 4 火	仕事始め	保健福祉総合センター
	令和4年陸前高田市新年交賀会	キャピタルホテル1000
6 木	主任会議	保健福祉総合センター
7 金	三役会議	保健福祉総合センター
	【民児協】理事会	コミュニティホール
11 火	第4回陸前高田市協働のまちづくり指針策定懇話会	市民文化会館
12 水	【市老連】三役会議	保健福祉総合センター
13 木	第6回中長期策定委員会	保健福祉総合センター
	子ども応援プロジェクト打ち合わせ	保健福祉センター
	ひとり親家庭支援ネットワーク連絡会 説明	保健福祉センター
14 金	下矢作地区支え合い会議	下矢作地区コミセン
	令和4年度岩手県総合防災訓練第1回参加機関打ち合わせ	オンライン
20 木	【市老連】市長と語る会	市役所
25 火	第7回中長期策定委員会	保健福祉総合センター
26 水	令和3年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修会	オンライン
27 木	第7回中長期策定委員会	保健福祉総合センター
29 土	100歳祝（横田町：和野トキヨ様）	川の駅よこた
30 日	100歳祝（矢作町：岩淵しん子様）	キャピタルホテル

31	月	令和3年度成年後見制度利用促進体制整備研修（終日）～ 2/1まで	オンライン
		支援員退職辞令交付手続き	保健福祉総合センター
2	1	火 令和3年度地域福祉推進トップセミナー	オンライン
		【民児協】理事会	コミュニティホール
3	木	令和3年度地域へつなぐコーディネート研修 第2回	オンライン
4	金	主任会議	保健福祉総合センター
7	月	【市老連】三役会議	コミュニティホール
		国保運営協議会	市民文化課会館
8	火	三役会議	保健福祉総合センター
10	木	スローショッピング意見交換会	アバッセたかた会議室
		第5回陸前高田市協働のまちづくり指針策定懇話会	市民文化会館
		地域福祉と育ついわての会 第8回研修会	オンライン
14	月	ボランティアコーディネーター研修会	オンライン
16	水	気仙地区社協連事務局会議	大船渡市：YSセンター
17	木	第8回中長期策定委員会	保健福祉総合センター
18	金	令和3年度はまだ運動推進会議	陸前高田市役所
		【共募】出納調査	保健福祉総合センター
		出納調査	保健福祉総合センター
19	土	きょうされん全国大会実行委員会	コミュニティホール
21	月	第4回東日本大震災被災者実態調査研究委員会	盛岡市：いわて県民情報交流センター
22	火	主任会議	保健福祉総合センター
		【共募】第3回審査委員会	コミュニティホール
24	木	令和3年度市町村民児協事務局担当者連絡会議	オンライン
25	金	三役会議	コミュニティホール
3	1	火 【民児協】民児協理事会	コミュニティホール
		令和3年度市町村社協部会第2回理事会	オンライン
3	木	令和3年度第5回理事会	コミュニティホール
9	水	【市老連】三役会議	コミュニティホール
10	木	アンブリライブ様来所	保健福祉総合センター

	令和3年度アセスメント基準研修会	オンライン
11 金	東日本大震災追悼式	市民文化会館
15 火	令和3年度市町村社協部会総会	盛岡市：ふれあいランド
	岩手県共同募金会令和3年度第4回理事会	盛岡市：ふれあいランド
16 水	【共募】第4回審査委員会	コミュニティホール
17 木	コープフードバンク協定書締結式	コミュニティホール
	令和3年度第4回評議員会	コミュニティホール
18 金	きょうされん第45回全国大会in東北いわて第1回運営ボランティア要員検討会	夢アリーナたかた
22 火	【共募】第4回運営委員会	コミュニティホール
25 金	職員研修	コミュニティホール
29 火	男女共同参画計画策定委員会	コミュニティホール

議案第1号 参考資料

令和3年度 社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会 事業評価一覧

※「○」:該当、「△」:いずれでもない、「×」:非該当

番号	地域福祉活動計画 事業	目標		達成状況 単位	評価内容					次年度継続
		内容	単位		社協が事業主体になつて実施することが適切か	地域福祉の向上に貢献しているか	より効果を上げる余地があるか	コストを下げる余地があるか	総合評価	
1	コミュニティ交流支援	市内の災害公営住宅11箇所へ支援	11箇所	10箇所	○	○	○	×	内容を変更して継続	○
2	サロン活動	サロンの開催	132回	0回	○	○	○	○	自主サロンの促進	○
3	うるおいとやすらぎの家の連携と協働	市内11地区コミセンへ助成金交付	11団体	9団体	○	○	○	○	助成金額維持のまま継続	○
4	助成金による各種団体への活動支援	市内の福祉団体へ助成	6団体	1団体	○	○	○	○	社会情勢をみながら助成金事業の継続	○
5	地域共生社会実現に向けた取り組み	各地区コミュニティ推進協議会単位へ働きかける	11団体	10団体	○	○	○	×	住民意識にあわせた地域支援の継続	○
6	こんにちは赤ちゃん訪問事業	出産祝い	90人	78人	△	○	○	△	検討しながら継続	○
7	ふれあいネットワーク活動	登録者の増加	5名	2名	△	○	○	×	見守り対象者の増加と見守りネットワークの見直し	○
8	赤い羽根共同募金活動	一般募金達成率 歳末募金達成率	100% 100%	104.3% (4,915,000円) 103.6% (2,986,979円)	○	○	○	×	継続	○
9	災害たすけあい義援金の受付	義援金の受け入れ	実施	11,4920円 (8件)	○	○	×	×	継続	○
10	支え合いマップの作成	コミセン単位の11地区で作成	11箇所	3箇所	○	○	○	×	継続	○
11	民生委員児童委員活動の推進	理事会の開催 地区民児協定例会の開催	12回 96回	12回 91回	△	○	○	×	現状通り	○
12	小地域ネットワーク活動研修会の開催	小地域ネットワーク活動研修会の実施	2回	0回	○	×	○	×	必要性について検討が必要	○
13	生活支援体制整備事業	協議体の設置	11地区	10地区	○	○	○	×	継続	○
14	住民が自由に集まる場所の推進	市内11地区を対象に集まる場所の設置	11箇所	0箇所	○	×	×	×	地域事情にあわせて継続	○
15	市民ボランティア登録	個人ボランティアの登録 団体ボランティアの登録	50名 20名	50名 13名	○	○	○	○	ニーズ把握を行いながら継続	○
16	市民ボランティア活動	支援率(支援/ニーズ)	100%	77%	○	○	○	×	計画や目標値を見直しながら継続	○
17	ボランティア養成講座の開講	養成講座の開講	4回	0回	○	○	○	○	目標を再度確認しながら継続	○
18	金婚祝賀会	記念品の配付	実施	記念品配布	×	○	×	○	社会情勢の変化で事業を見直す必要あり	○
19	福祉大会	表彰式典の実施	実施	実施	○	○	○	×	社会情勢にあつた開催を検討する	○
20	災害ボランティアセンターの運営	合同訓練実施	1回	0回	○	○	○	×	他事業と連携しながら継続	○
21	ボランティア活動センターの運営	ニーズ受付件数 保険の加入数	70件 3,000名	22件 2,327名	○	○	○	△	目標を見直しながら継続	○
22	福祉バスの運営	福祉バスの貸し出し	10回	22回	○	○	○	×	新型コロナウイルス感染症による事業の見直し	○
23	車両移送型移動支援事業の運営	利用回数	2,600回	2,283回	○	○	○	×	継続	○
24	市民交流プラザの運営	下和野市民交流プラザ来場者 中田市民交流プラザ来場者	5,500名 4,500名	6,925名 4,044名	×	○	○	○	助成金額維持し、運営方法の検討	○
25	介護予防いきいきライフの開催	参加者	370名	137名	○	○	○	×	参加しやすい事務局体制の検討	○
26	くらし応援窓口の運営	相談者数	90名	69名	○	○	○	×	継続	○

令和3年度 社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会 事業評価一覧

※「○」:該当、「△」:いずれでもない、「×」:非該当

番号	地域福祉活動計画 事業	目標		達成状況	評価内容					次年度継続
		内容	単位		単位	社協が事業主体になつて実施することが適切か	地域福祉の向上に貢献しているか	より効果を上げる余地があるか	コストを下げる余地があるか	
27	居宅・訪問・通所介護事業所の運営									
27-1	居宅介護支援事業所の運営	支援率人数	720名	596名	○	○	○	△	利用者数・収益向上を見込み継続	○
27-2	訪問介護事業所の運営	提供件数(延べ件数)	1,850件	2,333件	○	○	○	○	管理経費を見直しながら継続	○
27-3	通所介護事業所の運営	利用者数(人)	1,680人	1,385人	○	○	○	○	利用者数・収益向上を見込み継続	○
27-4	障害福祉サービス事業所の運営	提供件数(件)	2,100件	2,244件	○	○	○	○	継続	○
27-5	地域生活支援事業	提供件数	410件	516件	○	○	○	○	周知を行いながら継続	○
27-6	児童発達支援事業(ふれあい教室)の運営	ふれあい教室の実施	実施	実施	○	○	○	×	継続	○
28	高齢者・子ども・障がい者における福祉団体との連携と協働	福祉団体への財政支援	5団体	1団体	○	○	○	×	財政支援に加えて福祉団体との取り組みを行う	○
29	生活福祉資金の貸付	相談件数	90件	87件	○	○	○	×	継続	○
		貸付件数	40件	40件						
30	日常生活自立支援事業	登録者への対応	27名	26名	○	○	○	×	継続	○
31	見守り訪問活動	訪問世帯数	820世帯	799世帯	○	○	○	○	現状の見守りを継続させながら他の見守り方法の検討	○
32	広報誌ホームページによる情報の提供	広報誌の発行	12回	12回	○	○	○	○	継続	○
		ホームページの更新	12回	12回						
33	福祉学習の実践	職員の地域訪問	実施	1回	○	○	○	×	社会情勢にあわせた福祉学習を行った	○
34	福祉協力校の推進	市内の11校へ福祉学習のPR	実施	自肃	○	○	○	×	内容を拡充させて継続	○
35	社会福祉協議会職員及び役職員の研修	職員研修	2回	2回	○	○	○	×	内容を再検討し継続	○
		役員研修	1回	1回						
36	社会福祉協議会活動の周知を行い、会員加入率増や自主財源の確保	社協会費の納入(行政区)	126行政区	125行政区	○	○	○	×	社協活動の周知強化を行なう	○
		社協会費の納入(特定の事業所)	174ヶ所	169ヶ所						
37	市への事業提案	意見交換会	4回	4回	○	○	○	×	継続	○
		市長・会長懇談会	1回	1回						
38	地域福祉活動計画の推進	事業評価を行う	実施	実施	○	○	×	×	継続	○
39	食糧支援事業	フードバンク食料支援	—	64世帯	○	○	○	×	継続	○
		フードパンtryーおたがいさまプロジェクト	—	1回						
40	制服リユース業務	回収数	—	282点						
		提供延べ人数	—	10名	○	○	○	○	継続	○
		提供数	—	37点						
41	権利擁護相談窓口設置準備及び運営業務	相談件数	—	36件	○	○	○	×	継続	○
		申立て件数	—	3件						